

アジア等の廃棄物処理担当行政官が 市民レベルのごみ減量活動を視察

～西宮市 甲東エコ・コミュニティ会議 環境パネル展～

海洋ごみやマイクロプラスチック問題など、さきのG20大阪サミットでも主要議題として取り上げられ注目を集めている廃棄物問題。アジア等の開発途上国では、経済発展に伴う消費の向上で、ごみの量も急激に増大しています。しかし、その速度に行政の廃棄物処理サービスが追い付いておらず、住民の環境意識も低いため、適切に収集されずに放置されたり、不法投棄されたごみが、周辺で健康被害を引き起こしたり、河川に流れこんで水質や海洋汚染を引き起こしています。2015年に国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）では、目標11、12、14で廃棄物対策の重要性を訴えています。

国際協力機構関西センター（JICA 関西）は、NPO 法人こども環境活動支援協会（LEAF）のご協力により、10月22日から11月16日まで、ごみ処理の政策や実務に携わる途上国の行政やNPOの責任者を招聘し、日本の固形廃棄物管理、リサイクルなどを学ぶ「廃棄物管理能力向上（応用、計画・政策編）(B)」研修を実施しています。

11月6日は、西宮市で概ね中学校区ごとに組織され、住民主体で地域の課題に取り組んでいる「エコ・コミュニティ会議」の一つ、甲東エコ・コミュニティ会議の、年に一度の活動成果発表パネル展を研修員が訪問し、地域住民のごみ減量への取組みを学びます。ぜひ取材をご検討下さい。

研修員：8か国9名（バングラデシュ、コンゴ民主共和国、コソボ、ラオス、レバノン、ナイジェリア、パプアニューギニア、スーダン）

日時： 2019年11月6日（水）10：00-11：00

場所： 西宮市役所甲東支所 会議室
 （西宮市甲東園3-2-29 アプリ甲東3階）

通訳： あり

取材いただける場合は、前日、午後4時までにご連絡をお願いします。



ペットボトルをリサイクルした作品に興味津々の研修員達
 （写真提供：LEAF）

PRESS RELEASE



独立行政法人国際協力機構
関西センター
2019年10月31日

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 業務第1課 難波 緑

TEL 078-261-0383 e-mail : Namba.Midori@jica.go.jp